

平成 14 年度イタリアンライグラス優良品種選定試験

竹中 勲・榎堀 善文

要 約

イタリアンライグラス 15 品種の特性を比較した。気温は、冬期は平年並み、春期は平年より高かった。降水量は、冬季は平年並み、春期は少なかった。日照量は平年に比べ冬季は少なく、春季もやや少なかった。

極早生群 出穂始期はミナミアオバが遅く、倒伏もやや見られた。乾物収量はミナミアオバが多く、他品種に差はみられなかった。

早生群 出穂始期はタチムシャがやや遅かった。倒伏はどの品種も強かった。乾物収量はタチマサリ、ハルタチが多かった。

中・晩生群 出穂始期に大きな差はなかった。倒伏はどの品種も強く、再生に大きな差はなかった。乾物収量はナガハヒカリが多かった。

緒 言

本県に適するイタリアンライグラス優良品種の選定を行う。

試験方法	早晩性	品種名	倍数性	供試年次		
				H12	H13	H14
1. 試験期間 昭和 57 年より継続、 比較品種は原則として 3 年間。	極早生	ミナミアオバ*	2 倍体	○	○	○
		ウヅキアオバ*	2 倍体	○	○	○
2. 圃場 当場内 (標高 349m、年平均気温 12.7℃)	極早生	ワセフドウ	2 倍体	○	○	○
		ハナミワセ	2 倍体		○	○
3. 供試品種 表 1 のとおり 本県奨励品種 8 品種、 対照品種 7 品種	早生	ワセアオバ*	2 倍体	○	○	○
		タチマサリ*	2 倍体	○	○	○
		ニオウダチ*	2 倍体	○	○	○
		ハルタチ	2 倍体	○	○	○
		タチムシャ	2 倍体		○	○
		はるかぜ	2 倍体			○
		ナガハヒカリ*	4 倍体	○	○	○
中・晩生	ジャイアント*	4 倍体	○	○	○	
	アキアオバ*	4 倍体	○	○	○	
	ムサシ	4 倍体		○	○	
	ヒタチヒカリ	4 倍体		○	○	

4. 栽培方法

試験区：1区面積 6 m² (=3m×2m) 3反復乱塊配置

播種日：平成13年10月25日

播種量：2倍体品種 150g/a 4倍体品種 250g/a

播種法：条播 条間 40cm

施肥量：厩肥 600 kg/a 苦土石灰 10 kg/a

	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	(kg/a)
基肥	0.29	0.36	0.36	
追肥 (各刈取毎)	0.70	—	0.90	

刈取期：出穂期刈を基準とした。

5. 調査項目

「近畿・中国地域 牧草・飼料作物 品種・系統選抜試験実施に関する申し合わせ(昭和 57年 3月)」および「牧草系統適応性検定試験実施要領 (改訂 2版)」に準じて調査した。

結果および考察

1. 生育調査(発芽～出穂前)

いずれの品種も発芽および初期生育は良好であった。耐寒性においても、いずれの品種も問題は無かった。

2. 生育調査(出穂～刈取)

具体的数字は表 2-1、2-2 のとおりである。

(概要)

a. 極早生群

出穂始期はミナミアオバが遅かった。倒伏はミナミアオバにやや見られた。

b. 早生群

出穂始期はタチムシャがやや遅かった。倒伏はどの品種も強かった。再生はニオウダチが良かった。

c. 中・晩生群

出穂始期は大きな差はなかった。倒伏はどの品種も強かった。再生に大きな差はなく、全体的にやや悪かった。

表 2-1 生育調査 (1 番草 出穂～刈取)

早晚性	品種名	出穂始期	刈取日	刈取時 出穂程度	刈取時 草丈	刈取時 倒伏程度	再生程度
		月/日	月/日	1～5 無～極多	cm	1～5 無～甚	1～5 良～不良
極早生	ミナミアオバ	4/13	4/19	3	85	2	-
	ウヅキアオバ	4/4	4/10	3	67	1	-
	ワセフドウ	4/2	4/10	4	69	1	-
	ハナミワセ	4/4	4/10	3	69	1	-
早生	ワセアオバ	4/20	4/26	3	102	1	3
	タチマサリ	4/18	4/26	4	98	1	2
	ニオウダチ	4/18	4/26	4	91	1	1
	ハルタチ	4/20	4/26	3	92	1	3
	タチムシャ	4/24	4/26	1	91	1	2
	はるかぜ	4/18	4/26	4	94	1	3
中・晩生	ナガハヒカリ	4/29	5/7	5	114	1	4
	ジャイアント	4/29	5/7	5	113	1	4
	アキアオバ	5/1	5/7	3	117	1	4
	ムサシ	5/1	5/7	2	98	1	3
	ヒタチヒカリ	4/29	5/7	5	115	1	4

表 2-2 生育調査 (2 番草 出穂～刈取)

早晚性	品種名	出穂始期	刈取日	刈取時 出穂程度	刈取時 草丈	刈取時 倒伏程度
		月/日	月/日	1～5 無～極多	cm	1～5 無～甚
早生	ワセアオバ	5/19	5/27	4	104	1
	タチマサリ	5/19	5/27	4	100	1
	ニオウダチ	5/19	5/27	4	94	1
	ハルタチ	5/19	5/27	4	97	1
	タチムシャ	5/19	5/27	4	94	1
	はるかぜ	5/19	5/27	4	90	1
中・晩生	ナガハヒカリ	5/30	6/6	3	96	1
	ジャイアント	5/29	6/6	4	82	1
	アキアオバ	6/3	6/6	1	92	1
	ムサシ	6/2	6/6	2	86	1
	ヒタチヒカリ	5/29	6/6	4	89	1

3. 収量調査

具体的数字は表 3 のとおりである。

(概要)

a. 極早生群

乾物収量はミナミアオバ (67.5kg/a) が最も多く、他は大きな差はなかった。

b. 早生群

乾物収量は 1 番草でハルタチ(76.3kg/a)が最も多く、タチムシャ(51.9 kg/a)が最も少なかった。2 番草は、はるかぜ(61.8kg/a)が多かった。1 番草と 2 番草の乾物収量の合計ではタチマサリ (123.5kg/a)、ハルタチ (121.3kg/a) が多く、ニオウダチ (96.4kg/a)、タチムシャ (98.0kg/a) が少なかった。

c. 中・晩生群

乾物収量は 1 番草でナガハヒカリ(84.4kg/a)が最も多く、ムサシ (51.5kg/a) が最も少なかった。2 番草は、大きな差がなかった。1 番草と 2 番草の乾物収量の合計ではナガハヒカリ (140.1kg/a)、ヒタチヒカリ (130.9kg/a) が多かった。

表 3 収量調査

早晩性	品種名	1 番草		2 番草		合計	
		生草収量 kg/a	乾物収量 kg/a	生草収量 kg/a	乾物収量 kg/a	生草収量 kg/a	乾物収量 kg/a
極早生	ミナミアオバ	292	67.5	-	-	292	67.5
	ウヅキアオバ	171	36.6	-	-	171	36.6
	ワセフドウ	194	39.0	-	-	194	39.0
	ハナミワセ	197	40.0	-	-	197	40.0
早生	ワセアオバ	284	63.3	308	48.7	592	112.0
	タチマサリ	276	72.0	316	51.5	592	123.5
	ニオウダチ	226	49.3	310	47.1	536	96.4
	ハルタチ	314	76.3	290	45.0	604	121.3
	タチムシャ	258	51.9	292	46.1	550	98.0
	はるかぜ	320	57.9	322	61.8	642	119.7
中・晩生	ナガハヒカリ	418	84.4	324	55.7	742	140.1
	ジャイアント	381	73.2	297	49.6	678	122.8
	アキアオバ	391	67.3	347	48.9	738	116.2
	ムサシ	314	51.5	343	50.8	657	102.3
	ヒタチヒカリ	419	77.9	325	53.0	744	130.9

4、平成 11 年度～平成 14 年度試験結果

極早生品種ワセフドウについて

試験期間の 3 年が経過したため、奨励品種ウヅキアオバと試験品種ワセフドウの比較を行った。

主要成績は、表 4 のとおり。出穂始め、倒伏ともにウヅキアオバと比べ差はなかった。収量はやや少なかった。全般的にウヅキアオバに比べ特筆すべき点はなかった。

表 4 ウヅキアオバとワセフドウの比較

品種	年度	1 番草		総乾物収量 kg/a
		出穂始 月日	倒伏 1無～5甚	
ウヅキアオバ (奨励品種)	H11	4/11	1	62.0
	H13	4/14	1	60.0
	H14	4/4	1	36.6
	平均	4/10	1	52.9
ワセフドウ	H11	4/11	1	51.0
	H13	4/15	1	52.7
	H14	4/2	1	39.0
	平均	4/9	1	47.6

注：H12 は播種法が異なるため、比較から除く

早生品種ハルタチについて

試験期間の 3 年が経過したため、奨励品種タチマサリと試験品種ハルタチの比較を行った。

主要成績は、表 5 のとおり。出穂始め、倒伏ともにタチマサリと比べ差はなかった。収量は 1 番草ではやや劣るが、2 番草ではほぼ同等、総収量ではやや劣る結果となった。全般的にタチマサリに比べ特筆すべき点はなかった。

表5 タチマサリとハルタチの比較

品種	年度	1番草			2番草			総乾物 収量 kg/a
		出穂始 月日	倒伏 1無~5甚	乾物収量 kg/a	出穂始 月日	倒伏 1無~5甚	乾物収量 kg/a	
タチマサリ (奨励品種)	H11	4/19	1	78.0	5/8	1	15.0	93.0
	H13	4/24	2	74.6	5/10	1	38.3	112.9
	H14	4/18	1	72.0	5/19	1	51.5	123.5
	平均	4/20	1	74.9	5/12	1	34.9	109.8
ハルタチ	H11	4/15	1	61.0	5/11	1	26.0	87.0
	H13	4/24	1	58.8	5/11	1	44.0	102.8
	H14	4/20	1	76.3	5/19	1	45.0	121.3
	平均	4/20	1	65.4	5/14	1	38.3	103.7

注：H12 は播種法が異なるため、比較から除く

参考文献

- 近畿中国地域試験研究打合せ会議草地飼料作部会：近畿・中国地域 牧草・飼料作物品種・
 系統選抜試験実施に関する申し合わせ;2~5(1982)
 農林水産技術会議事務局ほか：牧草系統適応性検定試験実施要領(改訂2版);5~7(1990)
 堀川ら：奈良県畜産試験場研究報告第27号;35~38(2000)
 堀川ら：奈良県畜産技術センター研究報告第28号;20~24(2001)
 竹中ら：奈良県畜産技術センター研究報告第29号;12~16(2002)